

2022年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人第一平田学園 中国デザイン専門学校
島根デザイン専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人第一平田学園 中国デザイン専門学校及び島根デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は「2021年度学校自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を2022年8月8日(月)に実施したので、下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員

名 前	所 属
藤若 典弘(委員長)	卒業生：有限会社ヴィジョンイメージファクトリー 代表取締役
丹羽 雅人	株式会社丹羽建築設計事務所 代表取締役
守屋 謙太郎	株式会社ケイズ・ユニット 代表取締役
藤原 敏嗣	famo. DESIGN STUDIO 代表
藤森 英樹	PATTERN STUDIO SYNERGY 代表
山下 忠義	株式会社Bit 代表取締役
上野 貴美子	保護者：中国デザイン専門学校 教育助成会 会長

2. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、年度末に実施した「学校自己評価報告書」を2022年度学校関係者評価委員会にて学校関係者評価委員の皆様にご説明し、学校自己評価の各項目に対するご意見と評価をとりまとめた。

評価結果は、今後の本校における教育活動や学生指導等の学校運営の改善にいかし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表します。

3. 2021年度学校自己評価における学校関係者評価

評価 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

2022年度学校関係者評価委員評価一覧

評価 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

1 教育理念・目的・育成人材像など

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3.0	3.5	
1-2 学校の特色はなにか	4.0	3.7	
1-3 学校の将来構想を抱いているか	3.0	3.5	

2 学校運営

2-4 運営方針は定められているか	3.0	3.2	
2-5 事業計画は定められているか	3.0	3.5	
2-6 運営組織や意志決定機能は効率的なものになっているか	3.0	3.4	
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3.5	4	
2-8 意志決定システムは確立されているか	3.7	3.6	
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0	3.6	

3 教育活動

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4.0	3.3	
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育機関を勘案して、達成することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3.0	3.3	
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	3.3	3.7	
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	3.0	3.8	
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.5	4	
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.3	3.8	
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.5	3.8	
3-17 資格取得の指導体制はあるか	3.5	3.7	
3-18 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3.5	3.5	

基準4 教育成果

4-19 学生の就職に関する目標を達成したか	3.5	3.2	
4-20 資格取得に関する目標を達成したか	3.5	3.4	
4-21 退学率の低減に関する目標を達成したか	2.5	2.2	
4-22 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか	4.0	4	

基準5 学生支援

5-23 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.5	3.6
5-24 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	2.0	3.5
5-25 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	4.2
5-26 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3.0	3.6
5-27 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.0	3
5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3.0	3
5-29 保護者と適切に連携しているか	4.0	4.4
5-30 卒業生への支援体制はあるか	3.5	3.8

基準6 教育環境

6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか	3.0	3.2
6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.5	3.6
6-33 防災に対する体制は整備されているか	3.6	3.8

基準7 学生の募集と受け入れ

7-34 学生募集活動は適正に行われているか	3.5	3.8
7-35 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	3.5	3.6
7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4.5	4
7-37 学納金は妥当なものとなっているか	4.0	3.4

基準8 財務

8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.5	3.8
8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.0	3.8
8-40 財務について会計監査が適正におこなわれているか	4.5	4.6
8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	4.5	4.4

基準9 法令等の遵守

9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.0	3.8
9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.0	3.6
9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.0	3.7
9-45 自己点検・自己評価結果の公開はしているか	5.0	4.3

基準10 社会貢献

10-46 教育資源を活かした社会貢献	4.0	3.8
10-47 ボランティア活動の支援	4.0	4
平均	3.43	3.66

4.総評

上記10項目に対し、学校自己評価の平均は3.43(5段階評価)、委員による評価の平均は3.66であった。学校自己評価より約0.23ポイント委員評価の方が高い結果となった。

ES(従業員満足度)について昨年度より継続して改善されている感想を受けた。内部の充足・満足度はなかなか評価されにくいのが、内部が健全であれば外部への評価も高くなり、今後の良い循環を期待できると感じる。

社会のコロナ禍での対応体制は他種多様化しているが、本年度は学校内での対面対応も通常化している中、以前の授業をトレースしているのではなく、オンラインがあったからこそその対面授業の重要性を鑑みて環境やカリキュラムの改訂を行なっているという点は大変評価できると感じた。クリエイティブ業界でのキャリアのあり方は大変不透明であるが、その中でも「長い人生におけるキャリア」を少しでも学校内で教育されていくのであれば、学生にとって大変有意義だと感じた。同学が続けてきた「担任制」が、学生の孤立が起こりやすいコロナ禍下でも、学生の相談できる場所や対人のあり方として適していることがここ数年で証明されたと感じ、今後も必要な制度の一つとして大切にしたいと思った。

少子化・コロナでの学校運営はなかなか難しいものではあるが、社会・対人に関するコミュニケーション能力の教育に力をいれ、今後も邁進していただきたく感じました。中国デザイン専門学校及び島根デザイン専門学校の教育活動、学校運営は確かな管理の下、例年に続き標準で維持されていると評価する。(藤若委員長)